

# 合理的配慮と支援の具体例

- 本学の取り組みを中心に -

---

障害種ごとに



特別支援室

# 視覚障害(弱視)

- ・教科書や資料の文字を読むことが難しいです
- ・試験のとき、解答用紙への記入が難しいことがあります

- 授業時のPC・タブレットの使用を許可します
- 教科書や授業資料を拡大コピーしたり、データ化します
- 拡大印刷した解答用紙の準備、試験時間の延長等、試験の性質や評価のねらいなどによって方法を検討します

- ・学内移動のとき、段差が分からなかったり、教室までたどり着くのが困難な場合があります

- 点字シートなどの環境整備をします
- 特別支援室スタッフやサポーターが、安全な移動ルートを一緒に確認します

＊ 特別支援室には、拡大読書器やスキャナーが用意されています。

# 聴覚障害

- ・音声で伝えられる説明や指示が理解できず、状況に応じた対応が取れないです

- 教室の中では、前方や講師に近い場所に、座席を確保します
- 資料を事前に提供したり、文書での補足説明をします
- パソコンテイクやノートテイク（情報保障者）を配置します

- ・グループワークでは、発言者が特定できなかったり内容が聞き取れなかったりすることがあり、参加や発言が難しいことがあります

- 補聴援助システム（ロジャーなど）の利用を許可します
- 発言の順番など、ルールを決めます

- ・学内施設を利用する際、窓口での職員とのやりとりに不安があります

- 各部署の窓口に筆談ボードが設置されています

＊ 特別支援室では、  
難聴やAPD（聴覚情報処理障害）学生にロジャーの貸し出しを行っています

# 病弱・虚弱

- ・ふだんの見た目では分かりにくいですが、突然発作が起こることがあります（てんかん等）

→ 発作等があることや発作の場合の対処方法をマニュアル化し、学科・専攻や授業担当教員に周知します

- ・治療で定期的な通院・入院が必要なため、授業の受講や試験に影響しないか心配です

→ 通院回数が多くなる場合や試験日に重なる場合は、主治医の助言をもとに、個別の対応を検討するよう授業担当教員に相談することができます

\* 様々な慢性疾患や難病等について、保健センターと連携を取りながら、サポートを行っています

# 肢体不自由

- ・ 車いすを使用するので、移動経路に段差がある場合や通路が狭い教室は、移動するのが大変です

- アクセスしやすい教室への変更を検討します
- トイレなど必要な動線をあらかじめ確認して確保します
- 教室間移動に時間がかかる場合は、授業途中での参加を認めます

- ・ 体育など実技のある科目では、内容によって実施が難しいです

- 実技内容の変更や代替課題への変更を検討します

＊ 学内の移動支援については、学科・専攻を中心に、支援室サポーターも協力します。

# 発達障害

- ・ことばでの抽象的な指示や説明の理解が苦手で、指示通りに動けなかったり指示とは異なる行動をしてしまうことがあります

- 選択肢や回答例を示して、行動の具体的な例示をします
- 本人が確認しやすい手段で個別に対応することを検討します

- ・聴覚などの過敏があり、人が多い教室にいと、周りの話声やマイクのハウリングなどが苦痛に感じられます

- ノイズキャンセリングイヤホンや耳栓の使用を許可します

- ・見通しを立てるのが苦手で、複数の課題が出ると優先順位がうまくつけられず、提出が間に合わないことがあります

- スケジュール作成を支援します
- 担当教員とあらかじめ相談し提出締切の延長を検討します

# 精神障害

- ・精神的な症状（強い不安や気持ちの落ち込み）があり、教室に入ることが辛い場合があります。また、大勢の人を前にしての発表やグループワークが難しいことがあります

- 退席しやすい出入り口に近いところに座席を確保することや途中退室(服薬)などを検討します
- 主治医の助言をもとに、授業担当教員とあらかじめ相談し、発表やグループワークの方法について調整を行います

- ・治療や服薬の影響などから体調不良が起こりやすく、欠席や遅刻が多くなりがちです

- 授業担当教員とあらかじめ相談し、当日の連絡や配付資料の提供等、具体的な情報保障について調整します

# 注意事項

☆同じ障害名・疾患名であっても、症状の表れ方は人それぞれです。

☆ここに挙げた配慮や支援の例は一例であり、必ず同じ支援が受けられるとはかぎりません。学科・専攻や科目担当教員と相談の上、個々の状況に合わせて個別具体的な配慮や支援を考えていきます。



# 参考書籍

- 独立行政法人日本学生支援機構（編著）  
（2019） 合理的配慮ハンドブック  
～障害のある学生を支援する教職員のために～  
ジアース教育新社